

にしあいづ 議会だより

P2~3	令和8年度一般会計予算
P4~6	ココが聞きたい
P7	新教育長インタビュー
P8~9	定例会・臨時会議案
P10~19	一般質問
P20	議会だより、変わります
P21	広報モニターの意見
P21	議会の活動
P22	この人にインタビュー



たかつ かずと わらく おがわ のらき わこ むぎこ
(写真:左から高津 和人さん・和樂さん・いとこの小川 乃樂祈さん・環心さん・麦子さん)

令和8年3月定例会 開催期間 3月10日～19日

総額63億2,200万円

※事業費において千円単位は、切り捨てて表示します

新年度スタート!



小児・救急病院への支援 183万円

会津坂下町、会津美里町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、西会津町、喜多方市高郷地区が坂下厚生総合病院を支援していきます。



三留さん（縄沢）

小児科が減少している中での支援体制は子育てする上で安心です!



こども誰でも通園制度

家庭で保育されている乳児などを対象に、保育所や認定こども園などに「短時間・定期的」に通わせることができる制度です。月々10時間の利用枠の中で、保護者の就労条件を問わず利用出来る制度（こども誰でも通園制度）です。



田澤さん（呼賀）

短時間の利用は子育て中の方にとって助かる制度です!

される主な事業

- 母子手帳のデジタル化
- 医療機器整備事業（西会津診療所のCT装置の修繕）
- 基幹相談支援センター加入（障がい児相談支援の強化）

ココに注目!



令和8年度 一般会計予算

ココが変わる!



GPS除雪体制 694万円

除雪管理体制にGPSを活用し、除雪作業の効率化を進めます。除雪車の動きをスマホやパソコンで見られるようになります。除雪作業の一元管理による効率化と事務作業の簡素化を図ります。

水利施設支援 807万円

議会でも申し入れた、尾野本・三河水利組合の水利施設改修工事に対する国、県、町の補助事業です。水利施設の改修工事には、多額の受益者負担金が発生するため、負担軽減を図ります。



伊藤さん (呼賀)

GPSを活用した除雪体制に期待します!



物江さん (下小島)

受益者負担の軽減は町農業振興につながる大きな取り組みです!

その他に新規・拡充

- 担い手づくり総合支援事業 (農業機械購入への助成)
- ジビエ利活用推進 (原発出荷制限解除の取り組み)
- 防災ハザードマップの更新作成

家計簿でみる町の予算！

令和8年度一般会計予算（63億2,200万円）を、町内の平均的な世帯年収500万円の家計簿に置き換えて解説します。

町の予算は、項目が多く専門的な内容も含まれるため、数字やグラフだけではイメージしづらい部分があります。そこで通常の家計に例えることで、より身近に感じながら全体像を理解していただくことを目的として作成しました。

収入（入ってくるお金）

収入項目	令和8年度	前年比
給与 (町税など)	47万円	↗ 3万円
仕送り (地方交付税・ 補助金)	295万円	↗ 5万円
貯金取り崩し (繰入金)	46万円	↗ 3万円
ローン (町債)	30万円	↘ 11万円
その他収入 (使用料・ 寄付金など)	82万円	±0

支出（使うお金）

支出項目	令和8年度	前年比
生活費 (福祉・子育て)	136万円	↗ 6万円
医療・健康 (衛生費)	40万円	↗ 2万円
家の維持 (総務・土木費)	210万円	↘ 23万円
教育費 (教育)	36万円	±0
借金返済	64万円	↘ 4万円
仕事 (農業・商工)	47万円	↘ 3万円
もしもの備え (災害・予備費)	4万円	↘ 3万円

令和8年度のコヨリちゃん家は、給料（町税）がわずかに増えたものの、全体の収入は減少しました。特に借金（町債）を減らしたことで、家計の規模はやや引き締まっています。

一方で、生活費や医療費は増加しており、日々の暮らしにかかる負担は引き続き重くなっています。高齢化の進行などにより、今後もこの傾向は続くことが見込まれます。

支出では、家の維持費（人件費、道路など）が大きく減少し、全体の支出を抑える形となりました。また借金返済もやや減少していますが、依然として大きな割合を占めています。



ココが聞きたい！《議員が注目したポイント》

町のお金どう使う？

〈予算全体への質疑〉

令和8年度予算63億2200万円（前年比2億5100万円の減額 増減率3・8%減）

問 前年度予算と比較して減額になっている要因は。

答 ロータスイン第2源泉掘削工事などの事業完了や、地方債償還元金の減少により減額になりました。

問 今後の町財政の見通しは。

答 地方交付税など依存財源が多い中、物価高や人件費増で歳出は増加傾向にあります。予算全体で調整しながら、人口減少にあっても持続可能な財政運営となるように努めます。



〈石高プロジェクト〉495万円

デジタル技術などを活用し、持続可能な米づくりを目指すための取り組みです。

問 令和7年度の実績は。

答 16・5俵程度の販売となりました。夏の渇水や収穫期の倒伏などの影響により収量は減少しましたが、本取り組みの基本的な考え方である農家支援の仕組みに基づき、



減収分については消費者にも一定のご負担をいただく対応を行いました。

〈マルチワークスにしいあいづ〉997万円

人口減少が進む地域での人手不足解消と安定雇用の確保を目的に創設された制度です。

問 マルチワークスにしいあいづにおける働き手の人数と運営にあたっての課題は。

答 働き手となる派遣職員は、3月現在で3名です。働き手の確保と合わせ派遣先の確保が課題です。組合内外の企業へ仕事づくりの営業をしながら進めています。

〈地域活性化起業人〉159万円

企業の専門的なノウハウを活かしながら即戦力人材として町業務に従事する事業です。発案した事業の委託事業も含まれます。現在は、道の駅の業務にあたられています。

問 これまでの働き方との違いは。

答 業務内容については、道の駅の売上増加に関わる取り組みを継続して行っています。これまでの働き方を変更し、町内で活動する日数を、オンラインでの対応も併用しながら月10日間から月1日になります。

問 これまでの取り組み実績は。

答 道の駅にある情報発信ブースの設置や食事メニュー開発など、道の駅の魅力を高める取り組みを実施してきました。令和8年度の取り組みについては、現在協議を重ねています。



道の駅での取り組み

〈いづみ市も園委託料〉1億2846万円

こゆりこども園の運営委託料として、にしあいつ福祉会へ支出するもの。

問 事業費が減額計上している要因は。

答 経験年数の多い保育士1名が退職となり、新たに2名を採用したことによる給料差が主な要因です。運営体制としては、新たな取り組みなどもはじまり職員を増員して体制強化を図りました。

〈ジビエ工活用事業〉647万円

ジビエ出荷制限解除と、解除後のジビエ工活用にに向けた調査・検討を行うための事業。

問 事業内容の詳細は。

答 出荷制限解除への調整、食肉処理加工施設整備スケジュールの策定、捕獲体制・受け入れ体制・検査体制・施設運営体制などの検討、販路及び民間事業者との連携、町内飲食店や加工事業者などと連携したメニュー開発などを行います。

問 捕獲頭数の確保が必要になりますが、どのように見込まれていますか。

答 町の捕獲頭数だけでは、採算ベースに至りません。そこで会津北部地域の各自治体やそれぞれの猟友会とも連携できないか模索しています。

〈いづみでも通園制度に関する条例〉

国の法整備により実施される「こども誰でも通園制度」に向けた条例の制定。

問 新たな業務が発生することが想定されますが、現場の負担についての考えは。

答 受け入れにあたっては、園の定員の範囲内で実施をします（一時預かりなどの制度とあわせて実施）。児童や現場の状況によって受け入れを決定していきます。場合によっては断ることもあると考えています。

問 ならし保育への配慮はありますか。

答 入園の際に行う、「ならし保育」は、園に慣れるための配慮です。一方で、この制度は、限られた期間の受け入れのため、ならし期間は設けずを実施します。受け入れにあたっては保護者も立ち会うことを可能としています。



〈令和7年度一般会計補正予算〉

事業費の確定などによる補正予算

問 ふるさと応援寄附金が減額補正となりますが、返礼品の在庫管理などへの影響はないのですか。

答 返礼品を扱う事業者と在庫管理について、その都度調整し、在庫が余らないように対応しています。

問 購入予定のバスが、次年度へ繰り越されていますが、運行などへの影響はないのですか。

答 バスの更新については、物価高騰などの影響により遅れています。現行の車両については、点検や修繕を必要に応じて実施しているため、運行には現時点で支障はありません。

〈令和7年度簡易水道等事業会計補正予算〉

事業費の確定などによる補正予算。

問 過疎対策事業債が増加計上されていますが、要因は何ですか。

答 過疎対策債の増加計上については、かねてから、県に対し増額要望をしていました。この度、要望内容について許可されたため計上することになりました。

人事案件 ^{たか た かず とよ} 高田和豊氏の任命に同意!

新教育長にインタビュー!!

新教育長プロフィール

高田氏は、大学卒業後現パナソニックホールディングス株式会社に入社し、平成28年からはマサチューセッツ工科大学で、子どもの主体性や創造性を育む、探求型学習方法の研究に従事してこられた方です。



高田教育長が考える“4つのキーワード”

「人生を考える力」を育てる教育

知識を身につけるだけでなく、子どもたちが自分で考え、選び、自分の言葉で語れる力を育てたいです。「自分はこんなことをしてきた」「こんなことができる」と胸を張って語れる主体性を育てたいです。

創造と探究から“形にする”教育

正解を早く出す力だけでなく、問いを立て、試し、表現する力を育てたいです。テクノロジーを含めた探究学習の機会を充実させて、学びを経験として積み上げていける教育を目指します。

家庭・地域とつながる教育

学びが、日常や暮らしとつながることを大切にしていきます。学校の枠にとらわれず、家庭や地域にも学びを広げ、地域全体で教育行政をつくりあげていきます。

自らモデルを示していく

新しい事には、何をどう進めればよいかを自ら実践していくことが大切だと考えています。先生方が挑戦できる環境をつくり、共に成長していける教育行政を目指します。

なぜ西会津を選んだのか?

子どもの数が少ない地域だからこそ、一人ひとりに向き合いながら本質的な挑戦ができると考えています。

また、教育に限らず様々な分野で活躍する人がいることも西会津町の魅力です。町の土台を生かしながら新たな教育づくりに挑戦していきます。



趣味は、茶道、バスケットボール、旅行
(写真はボストンでの茶会)

1月20日臨時議会 審査議案と結果

上程議案・概要・結果	結果
令和7年度 補正予算	
一般会計補正予算（第6次）専決処分 1億6,504万2千円増額 国物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用	承認
国民健康保険特別会計補正予算（第3次）650万円増額 医薬品費の不足（診療施設勘定）	承認
委任専決事項 事故による損害賠償と和解に関する報告	報告

2月24日臨時議会 審査議案と結果

上程議案・概要・結果	結果
令和7年度 補正予算	
一般会計補正予算（第7次）専決処分 1,094万8千円増額 第51回衆議院総選挙	承認
一般会計補正予算（第8次）専決処分 1,070万円増額 除雪委託料の増額	承認
一般会計補正予算（第9次）6,500万円増額 除雪委託料の増額	可決

3月定例会 審議議案と結果（※は採決を行った議案）

上程議案・概要・結果	結果
条例の制定・改正・廃止	
乳児等通園支援事業条例の制定 家庭で保育している乳児等を対象に、認定こども園などに短時間・定期的に通わせられる制度実施のための条例制定	可決
行政手続条例の改正 国の法改正に伴う改正	可決
交通教育専門員設置条例の改正 最低賃金見直しにより専門員報奨金を改定	可決
移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の改正 移住定住促進住宅を新たに2棟追加するための改定	可決
職員の給与に関する条例の改正 国の法改正に伴う改正	可決
税条例に関する条例の改正 前納報奨金制度の廃止に伴う改正	可決
町立学校施設使用料に関する条例の改正 冷暖房設備設置に伴う使用料の設定	可決
こゆりこども園条例の改正 乳児等通園支援事業の開始に伴う改正	可決
道路占用料徴収条例の改正 電柱など工作物設置による料金の改正	可決
消防団設置等に関する条例の改正 消防団員定数の改正	可決
中小企業融資制度資金利子補給基金条例の廃止 新型コロナウイルス関連貸付の利子補給について国の定めた期間が満了するため廃止	可決
新田興助教育振興基金条例の制定 町名誉町民の新田興助氏より教育振興のためのご寄附があったことから基金(貯金)を新たに設置するための条例制定	可決
令和7年度 補正予算	
一般会計補正予算（第10次）5,252万円減額 国県補助事業等の事業費確定によるもの	可決
一般会計補正予算（第11次）5,000万円増額 新田興助教育振興基金等に積み立てるもの	可決
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2次）768万4千円増額 広域連合に納付する保険料・負担金などの確定によるもの	可決
国民健康保険特別会計補正予算（第4次） 事業勘定 414万円増額 診療施設勘定 444万2千円減額 給付費や診療収入などの確定見込みによるもの	可決
介護保険特別会計補正予算（第3次） 117万2千円増額 給付費などの実績見込みによるもの	可決
簡易水道等事業会計補正予算（第2次） 収益的収入及び支出予定額の補正 309万1千円増額 資本的収入及び支出予定額の補正 1,230万円減額	可決
下水道等事業会計補正予算（第2次） 収益的収入及び支出予定額の補正 1,404万6千円減額 資本的収入及び支出予定額の補正 1,807万1千円減額	可決

令和8年度一般会計予算・特別会計予算		
一般会計予算	歳入歳出総額 63億2,200万円 (自主財源26.7% 依存財源73.3%)	可決
工業団地造成事業特別会計予算	歳入歳出総額 8,867万6千円	可決
住宅団地造成事業特別会計予算	歳入歳出総額 583万1千円	可決
後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出総額 1億3,018万4千円	可決
国民健康保険特別会計予算	事業勘定 6億9,995万3千円 診療施設勘定 3億4,380万円	可決
介護保険特別会計予算	歳入歳出総額 12億2,171万4千円	可決
簡易水道等事業会計予算	収益的収入及び支出の予定額 2億8,483万3千円 資本的収入及び支出の予定額 1億3,463万8千円 2億2,407万6千円 不足分は補填	可決
下水道事業会計予算	収益的収入及び支出予定額 3億7,870万2千円 資本的収入及び支出予定額 1億2,228万8千円 2億1,119万2千円 不足分は補填	可決
町道路線変更		
町道の改修に伴う路線変更	向原地区内の町道改修新設工事に伴い現行路線の起点終点の変更	可決
国の法律に基づく計画の策定・変更		
過疎地域持続的発展計画の策定	総合計画第5次に準じた計画の変更 5カ年の計画が満了することから新たに令和12年度までの計画を策定するもの	可決
人事案件		
教育委員会教育長の任命について高田和豊氏の任命に同意		同意※
請願・意見書の提出		
所得税法第56条の廃止を求める請願 (委員会報告)		採択
所得税法第56条の廃止を求める意見書		可決

討論・採決結果

町から提出された第30号議案「教育委員会教育長の任命について同意を求めること」について討論が行われ、採決が行われましたので詳細を掲載します。

渡部	仲川	長谷川	上野	小林	荒海	秦	伊藤	三留	猪俣	青木	武藤
○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○

○は賛成、×は反対。伊藤議員は議長のため採決に加わっていません。

反対

猪俣 常三 議員

町が進めるICT教育は理解するが、ICTを一気に推進することは学力格差につながるおそれがある。教育長の任命については教育界や学校教育関係に精通している人材を推挙するべきと考えることから反対する。

賛成

武藤 道廣 議員

町の教育方針に沿うかたちで推薦された方である。反対する意見も理解できるが、町が考える教育方針をしっかりと進めていくには、推薦された方が適任と判断する。こうした町の考えを受け止め賛成する。

町政を問う

ここが聞きたい 9人が登壇

一般質問各ページは、質問した議員本人の責任のもと、構成と執筆をお願いしています。

一般質問は3月11日と12日の2日間行い、議員9人が登壇して、町政の課題などを伺いいただきました。

○青木照夫 議員（11ページ）

- ・空き家利活用
- ・交通弱者対策

○小林雅弘 議員（12ページ）

- ・タクシーの廃止
- ・空き家対策
- ・ミネラル野菜のブランド化

○渡部佳菜子 議員（13ページ）

- ・RVパーク（車中泊拠点）

○武藤道廣 議員（14ページ）

- ・令和8年度予算編成
- ・米の品質向上
- ・西会津タクシー営業所撤退の影響と対応

○猪俣常三 議員（15ページ）

- ・フレイル予防
- ・遊休農地の利活用
- ・集落内の道路環境整備

○長谷川正 議員（16ページ）

- ・有害鳥獣対策

○秦貞継 議員（17ページ）

- ・地域経済の発展
- ・労働力人材の育成

○三留正義 議員（18ページ）

- ・交通安全協会との責任関係

○上野恵美子 議員（19ページ）

- ・8050問題
- ・特別障害者手当

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来の方向性について報告や説明を求め、町民のための適切な行政運営が進められているかをチェックするものです。

事前の通告に基づき質問

質問者は、議長の許可を得て事前に執行者に通告した内容に沿って質問することができます。

反問権

議会において、町長や執行部などが、議員の質問や質疑の趣旨が不明な場合などに、質問などを行った議員に問い直す権利です。

議事の運営について

一般質問の内容から外れた場合は、議長が止めに入ることがあります。

1時間以内なら何度も質問可能

論点及び争点を明確にし、議論が深まるよう一問一答方式を採用しており、答弁を含めて1時間の時間内であれば何回でも質問することができます。

「スクラップアンドビルド」で、 寂れたまち並みの再生を!



あおき てるお 議員
青木 照夫

空き家利活用

問 高齢者集合住宅への利活用は

答 現行の計画の中で検討していく

問

空き家を活用した事業に「スクラップアンドビルド」の考えは。

答

企画情報課長
各地区の空き家利活用事業でも、「スクラップアンドビルド」の視点ですでに取り組んでいます。

問

空き家を利活用して、高齢者の集合住宅を整備する考えは。

答

福祉介護課長
現行の介護保険事業計画・高齢者福祉計画において、安心して暮らせる住居の確保の方策のひとつとして検討していきます。



町が整備した空き家

交通弱者対策

問 階段のない尾登駅への送迎の支援は

答 今のところ考えていない

問

高齢者など交通弱者にとって、

野沢駅跨線橋の階段の昇り降りは大きな負担となっています。対策は。

答

町民税務課長
鉄道事業者がその実態により対策を講じるべきと捉えています。改善に向け、引き続きJR東日本新潟支社に対して要望活動を行っていきます。

問

交通弱者の中には駅を利用する際、階段のない尾登駅を利用している方もいます。そこで、尾登駅

問

を利用するために送迎をする考えは。

答

町民税務課長
現在のところ考えていません。しかし、尾登駅利用のための移動手段として、デマンドバスによる移動が可能です。

問

デマンドバスは、尾登駅の列車の発着に合わせて運行していますか。

答

町民税務課長
現行のデマンドバス運行の見直しの中で、検討します。



階段のない尾登駅

スクールバスの運行は大丈夫とのこと。
当面、デマンドバスの運行拡大でカバーを。



こばやし まさひろ
小林 雅弘 議員

タクシーの廃止

問 町民の足の確保を

答 デマンドバスでカバーを検討

問 町内のタクシー営業所が閉鎖します。どう町民の足を確保しようと考えていますか。

町内のタクシー営業所が閉鎖し
手段をどうするつもり
ですか。

答 町長の

夜間の交通移動
については、その対応
を関係機関・団体と協
議しています。

問 近くのデマンドバスでカバーすることができないか、関係機関・団体と協議を進めていますか。

タクシーの形態
ライドシェアを
検討し、団体を
育成すべきと考えま
す。

問 町長の

まず現行のバス
の運行形態を見
直してはどうでしょ
うか。

答 町長の

バス運行予約シ
ステムを含め、町民バ
ス体系の見直しの検討
作業を進めています。

問 夜8時以降の野沢駅からの交通



廃止される営業所

空き家対策

問 空き家解体の加速を

答 計画的に解体を行う

問 現在の空き家の状況と危険家屋は何棟ですか。

町民税務課長

町民税務課長

町民税務課長

町民税務課長

町民税務課長

町民税務課長

町民税務課長

町民税務課長



放置された空き家

町は、空き家を
どのように利活
用しようと考えていま
すか。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

町は、空き家を直
接借り受け、改修を行っ
た上で移住者に賃貸す
る「移住定住促進住宅
整備事業」を進めてい
ます。今年度は2棟を
追加します。空き家の
利活用はもちろん、発
生抑制に向けた取り組
みも強化していきます。

通過されてしまう町から、
滞在と交流が生まれる町へ。



わたなべ かなこ 議員
渡部佳菜子

RVパーク（車中泊拠点）

問 RVパークの整備の考えは

答 今後調査、検討し考えていく

問 RVパーク（車中泊拠点）を整備する場合、どのような課題があると考えていますか。

答 商工観光課長
場所の選定や、電源・給排水・トイレ・ゴミ処理などのインフラ整備、初期費用や運営コスト、管理体制、近隣住民の理解など、課題があります。また、道の駅については国土交通省の管轄部分もあり、スペースの制約もあります。

問 道の駅他にどのような候補地が考えられますか。

答 町長
道の駅は、国土交通省との関係もあり

ますし、土曜、日曜日や紅葉シーズンは駐車場が満杯で入れないということも起こっています。狭い駐車場のスペースにRVパークを設置することは適当ではないと思っています。整備するのであれば、西会津町内でロケーションの良い場所や運動施設、温泉がある場所が考えられます。

問 今後どのように進めていくお考えでしょうか。

答 商工観光課長
道の駅・飲食店からのニーズ調査や、どういう形態で、どこが管理運営するかなどを検討していきます。

問 提案として、今年5月にも西会津なつかしCarショーのイベントがあります。前泊・当日宿泊のお客様を想定して、社会実験として行うことは可能ではないでしょうか。

答 商工観光課長
西会津なつかしCarショーは実行委員会形式で行っています。例年、さゆり公園や近隣駐車場が満車となり、町内全域の駐車スペースを確保して行っているイベントです。RVスペースの確保・電源を整備するのに予算的な措置も必要になります。

問

RVは低コストで整備が可能であり、簡易的であれば、試験的に実施してみることが可能かと思えます。

答

商工観光課長
試験的であっても、どのような手続きが必要なのか、詳細に検討・調査をしていきます。

温泉 → 飲食 → 車中泊



RVパークで地域資源をつなぐ

ひと言

町民のウェルビーイング（心身の健康・心の豊かさ・社会的に良好＝幸福）を目指した政策や予算執行を望む！



むとう 武藤 道廣 議員

令和8年度予算編成

問 総合計画の予算化は

答 実現に向けた予算編成

問 予算編成に総合計画は反映され

たか。 ③健康で元気なまちづくり（5260万3千円）

答 町長 町の将来像「未来を編む。幸せひろがる日本の田舎、西会津町。」の実現に向け、人づくり、しごとづくり、健康・絆づくり、生活環境づくりの分野で予算を編成しました。

④産業振興 鳥獣被害防止対策強化、ジビエ肉利活用推進、企業の支援活動補助金（3157万6千円）

⑤観光・移住定住 交流・関係人口の拡大、台湾インバウンドの推進、地域おこし協力隊（9241万6千円）

⑥安全・安心なまちづくり 地域活性化、ふるさと応援寄附金経費（1億2078万2千円）

⑦デジタルのまちづくり デジタル戦略推進（2170万6千円）。

①子育て・教育 環境の充実強化 保育料の無償化、認定こども園運営、学校給食費無償化（2億1552万2千円）

②若者・結婚対策強化 結婚新生活支援

③健康で元気なまちづくり

④産業振興

⑤観光・移住定住

⑥安全・安心なまちづくり

米の品質向上

問 良食味米の生産推進の取り組みは

答 技術指導や講習会などで推進を図る

問 米・食味分析鑑定コンクール国際大会への取り組みは。

答 農林振興課長 「米・食味鑑定

士協会」の主催で国内外最大の米コンクールです。

町内生産者の生産意欲向上や西会津産米のPRなどを目的として参加出品しています。

「西会津うまい米コンテスト」入賞米の出品支援、栽培技術研修会などへの参加支援とともに関係機関と連携し入賞に向けて取り組んでいきます。

問 栽培技術などの向上に向けた取り組みは。

答 農林振興課長 水田の土壌分析

を行い分析結果に基づく技術指導を実施しています。集落や地域単位の栽培技術講習会を開催し、食味値の底上げを図ります。

ブランド化に向けた取り組みとして各コンテストへの出品支援やイベントなどを開催し、良食味米産地のPRと販路の拡大に取り組んでいます。



米食味分析鑑定コンクール国際大会を目指して！

ひと言

「フレイル」を予防するためには、人とのつながり・体を動かす・いろいろ食べることが大切。



いのまた 猪俣 常三 議員

フレイル予防

問 フレイル予防活動への支援は

答 継続して行っていく

問 老人クラブにおけるフレイル予防活動への支援は。として43万5千円を計上しています。

答 福祉介護課長

「フレイル」は、健康と要介護の中間にある虚弱な状態を意味します。

町では、単位老人クラブと老人クラブ連合会に対して、福島県を大きく上回る補助基準で支援しています。

令和8年度一般会計当初予算では、単位老人クラブと連合会への補助金は、県の補助基準額では186万円ですが、町は358万3千円を計上しています。さらに、老人クラブ会員などを対象として各種スポーツ大会の経費



遊休農地の利活用

問 遊休農地の利活用への考えは

答 支援制度を活用して取り組む

問 基盤整備された遊休農地内の雑木除去は。

答 農林振興課長
土地は個人の財産であるため、農地所有者が適正に管理する必要があります。しかし、所有者の離農や地主の不在、相続などの理由により管理されていない農地があります。自治区においては、交付金を活用して遊休

問 農地の発生抑制を図り、適正な維持管理に取り組んでいます。

答 農林振興課長
遊休農地の利活用への考えは。として、町農業再生協議会が事業主体となり「遊休農地等再生計画」のもと、地域の農業者が遊休農地を引き受けて、作物生産の再開を目指しています。



水田が蘇る日を待っている遊休地

野生鳥獣肉（ジビエ）の利活用は、町発展の起爆剤となる。早期の出荷制限解除を！



はせがわ ただし 議員
長谷川 正

有害鳥獣対策

問 ワイヤーマッシュ柵導入の考えは

答 令和8年度、事業採択に向け要望を行っている

問 ワイヤーマッシュ柵の導入に対する国の支援は。

答 農林振興課長

ワイヤーマッシュ柵の部材のみを購入し、設置を受益者などが自ら行う場合は、購入費の10割の補助率となります。また、設置を外部委託する場合は、補助率が5割となります。

問 ワイヤーマッシュ柵の設置に向けた具体的な工程は。

答 農林振興課長

7月ごろになるので、決定の通知があり次第速やかに設置作業に着手できるように、準備を進めていきます。

問 有害鳥獣解体施設の利用状況と課題は。

答 農林振興課長

令和4年度の施設開設から令和7年度まで179頭の解体を行いました。全捕獲頭数の3割の個体を当施設で解体処理したことになります。

問 課題については、これまで利用者から寄せられていますか。

答 農林振興課長

3件の問い合わせがあり、そのうちの1件については、令和8年度の補助事業採択に向けて、国に対し要望を行っています。

れからも利用者の声を聞きながら運営していきます。

問 捕獲した個体を食肉（ジビエ）として利活用するにあたり、出荷制限解除の現状と課題は。

答 町長

県内では、一部

市町村を除き野生鳥獣肉（ジビエ）に出荷制限が課せられています。

町では、昨年「西会津町ジビエ利活用検討会」を設置し、出荷制限解除を見据えた利活用について検討を進めています。

今後は、国や県に対して速やかに出荷制限の解除申請を行えるよう、広域連携市町村と連携し取り組んでいきます。

を資源として利活用し、地域経済の活性化につながる」と考えています。そのため出荷制限解除に向けて、全頭検査を行い放射性セシウム濃度が基準値以下の個体が出荷可能となる「一部解除」を目指しています。

今後、国や県に対して速やかに出荷制限の解除申請を行えるよう、広域連携市町村と連携し取り組んでいきます。

を資源として利活用し、地域経済の活性化につながる」と考えています。そのため出荷制限解除に向けて、全頭検査を行い放射性セシウム濃度が基準値以下の個体が出荷可能となる「一部解除」を目指しています。



会津若松市湊地区のワイヤーマッシュ柵

ひと言

西会津町がこれから持続的に存続するには経済活動の活発化が重要。その地域経済を支える人材が育成される施策を。



はた 秦 さだつぐ 議員

地域経済の発展

問 タクシー撤退による影響は

答 経済への影響が懸念される

問 町内総生産の推移は。

答 町内の総生産額は、平成7年は287億円まで増加しましたが、令和4年度は185億円となりました。

問 個人タクシーや代行事業者などの新規交通事業者への支援対策を検討してはどうか。

答 町商工会と飲食店組合から「タクシー業等の確保対策への要望書」が町に提出され、関係団体からも対策を求める声が上がっています。町ではタクシー利用の調査・分析を行うとともに、デマンド

バスでタクシーをカバーできないか、関係機関・団体との検討・協議を進めています。

問 町内のタクシー会社の撤退による地域経済への影響をどのように分析していますか。

答 高齢者や交通弱者の方々の移動手段の選択肢が少なくなり、通院や買い物、行政サービスへのアクセスなど、日常生活への影響が懸念されます。また、観光における周遊機会の損失や飲食業、小売業など地域経済への影響も懸念されます。

労働力人材の育成

問 西会津高校から地域で活躍できる人材育成を

答 卒業生の半数が町内企業で活躍



卒業生は町内企業で活躍

問 本町の労働力人口と各産業における人口の推移と割合は。

答 町商工会が10年前に比べ製造業が634人で178人の減、農業が456人で187人の減、建設業が349人で107人の減、卸売・小売業が316人で76人の減となっています。

問 福島県立西会津高等学校から、地域産業で活躍できる人材を育成する考えは。

答 町学校教育課が西会津高校卒業生の過去4年の進路状況では、約35%が進学で、約65%が就職です。そのうち約50%が町内企業への就職となっており、地元への貢献度は非常に高いです。

カーブミラー設置の取り組みなどの内容や
交通会との関係性がより明瞭にあって欲しい。



みとめ まさよし
三留 正義 議員

交通安全協会との責任関係

問 交通会との関係性を明瞭に

答 令和8年度に方向を示す

私が令和6年6月議会定例会において、カーブミラー設置の質問をした際、以下の内容を確認しました。

カーブミラーは町が責任を持って管理すべき施設であること、そして現在は交通安全協会の皆さんに春先の点検をお願いしているということ。

町が責任主体である以上、全てのカーブミラーの設置場所や設置年、種類、劣化状況を把握する台帳の整備が必要ではないかと考えます。また、協会の皆さんの負担を軽減しつつ安全性を確保するためにも、点検基準の明確化や点検周期の設定、

そして将来的な更新計画の整理といった、予防的な管理体制が求められるのではないのでしょうか。

問 現在、こうした台帳や点検記録

はどの程度整備されていますか。

答 町民税務課長

台帳や点検記録の整備状況については、これまでの設置の形態から全てを把握しておりません。しかし、各期の交通安全運動期間中に、町交通安全協会へ点検を依頼し、補修や更新が必要な場合は、補修資材を同協会に提供し、機能維持を図っています。

問 協会の皆さんの高齢化も踏まえ、

町として協会の皆さんと協力しながら、より体系的で持続可能な管理体制を整えていく考えがあるのか、伺います。

答 町長

令和8年度内に、交通安全協会さんとの関係性などについて、方向を明確に示します。



交通会と明確な関係が期待される



ひとりで抱え込まないで…8050問題 専門家と一緒に、一步を踏み出しましょう!



うえの えみこ
上野恵美子 議員

8050問題

問 取り組みへの考え方は

答 「自立」を念頭に取る

問 「8050問題」
とは、80代の親

がひきこもりの50代の子どもの生活を経済的・精神的に支えることで、親子ともに困窮し孤立する社会問題です。この問題の課題をどのように捉えていますか。

答 福祉介護課長

親の高齢化と子どものひきこもりの長期化・高齢化が背景にあります。家族のひきこもりの状況を周囲に隠し潜在化する傾向が強く、対策が遅れるという課題があります。

問 町の「8050
問題」の現状と

対策及び今後の取り組みは。

答 福祉介護課長

ひきこもりへの対応は、個別の事案発生時に対処しているため、町内における全体像(数)の把握はできていません。しかし、早期の段階で、適切な職種・機関とつながることが効果的です。今後、全数調査に取り組みたいと考えています。

問 専門家が直接出向いて、親子との信頼関係を築きながら継続的な支援を行うことも必要ではないですか。

答 福祉介護課長

その点においても、「自立」を念頭に、関係機関と連携し、取り組んでいきます。

特別障害者手当

問 在宅の重度要介護者の受給拡充への取り組みは

答 事業の周知・申請勧奨に努めている

問 「特別障害者手当」は、障害者

手帳を持っていないくても、在宅で生活されている要介護度4・5の高齢者が該当する可能性が十分でないため周知が十分でないため、申請する可能性が低いという課題が指摘されています。そこで町の取り組みは。

答 福祉介護課長

町ホームページと広報紙により広く制度の周知を図っています。また、西会津診療所及びにしあいづ福祉会と連携をし、申請勧奨に努めています。

ご存知ですか?

障害者手帳なしでももらえる
在宅の重度要介護者も
受給の可能性

月額 **29,590円**

特別障害者手当





柴田町議会での研修の様子 全国表彰を受けた議会だよりの工夫を学びました

議会だよりに、変わります。

— 読まれる紙面づくりを目指して —



広報分科会では、議会だよりをもっと読みやすく、もっと伝わるものにするため、1月28日と29日に宮城県柴田町議会と福島民友新聞社で研修を行いました。

今回の研修で学んだのは、議会だよりは単なる報告ではなく、**町民と議会をつなぐ媒体である**ということです。

柴田町から学んだこと

■編集は「仕組み」でつくる

柴田町では、編集方針を明文化し、構成を設計してから制作に入る体制が整っていました。改善点も共有され、広報を個人任せにしない仕組みがつくられていました。

■町民が登場する紙面

「町民の一言」など、町民参加型の企画が印象的でした。町民が登場することで、議会を身近に感じてもらう工夫がされていました。

■難しい内容をやさしく

予算や決算は、家計簿として生活感覚に置き換えて紹介されていました。難しい行政情報をわかりやすく伝える姿勢は、大いに参考になりました。

▶学んだこと

「わかりやすさ」は議会の責任である



新聞社から学んだこと

■見出しで読むか決まる

福島民友新聞社では、「見出しだけでも内容が伝わること」が大切だと学びました。思わず読みたくなる見出しが求められています。

■“読む”より“見る”

写真や図を効果的に配置し、どこから読んでほしいかを意識して設計することの大切さを学びました。紙面は、文章だけでなく、見せ方でも伝わり方が変わります。

■文章は短く、やさしく

長い文章よりも、短く整理された文章の方が伝わります。議会用語や行政用語は、中学生にも伝わる表現にすることが大事だと学びました。

▶学んだこと

「読む努力をさせない紙面」が必要



町民の声で進化する「議会だより」 —広報モニターからのフィードバック—



町民の皆さまの声をもとに、議会だよりの改善を進めています。

改善に向けた意見



視覚的ストレスを軽減する

強すぎるイメージカラーを控え、本文に明朝体を活用することで読みやすさを向上させる。



データの可視化と周知の強化

懇談会の参加人数や相談件数を数値で記載し、開催情報を誌面で広く周知する。



「一般質問」の解説を追加

専門的な「一般質問」の内容を町民が理解できるように、用語をその都度解説する。

評価されたポイント



- 質問と図解の色分けや、吹き出しを活用した議員の主張の強調が好評を得ている。
- 素晴らしい家族写真の採用や、上部にまとめられた目次が「見やすさ」に繋がっている。
- モニターの提案が反映されることで、町民が参加の意義を実感できる。

委員会活動

議会活性化特別委員会の
研修が行われる!!

テーマ「地方議会とコンプライアンス」

1月23日、福島大学経済経営学類教授
吉高神明先生を講師に迎え、議員研修
会を開催しました。

企業や国会議員の不祥事を例に、地方議員の不祥事が注目される背景や、「コンプライアンス」の意義について学びました。また、議員が遵守すべき関係法令や政治倫理の重要性について理解を深め、責任の重さを改めて認識する機会となりました。



自然の中で育むキズナ！高津ファミリーに注目！

—西会津での暮らしは—

豊かな自然を感じながら日々の暮らしを送っています。特に冬の飯豊山は圧巻です！自然の中に暮らしていると感性が研ぎ澄まされていくのを感じます。これからも西会津で暮らしていく中で、地域の営みや文化なども含めて先人が作り上げてきたものを無駄にせず、受け継いでいきたいです。

—家族円満の秘訣は—

時には焚き火などしながら自然の中でコミュニケーションをとる時間をつくっています。ゆとりある時間の中で会話を重ねることが、何よりも家族関係を深めているように思います。

また、自分自身が満たされていることも大切です。自分が満たされていることが家族にも良い影響を与えています。

—これからの町に期待することは—

ジビエの取り組みに注目しています。私も狩猟免許の取得や、ジビエにするにあたっての解体方法や仕組みづくりを考えています。地域資源をより活用し、面白い人材が町に集まる環境になることで教育や地域の活気にもつながると思います。



野沢祭礼の時に撮影した家族写真

議会の動き

新事務局長就任 のごあいさつ

4月1日付で議事事務局長を拝命しました齋藤正利です。19年前に4年間勤務して以来の配属となります。議会基本条例の制定やデジタル化の進展など大きな変化を実感しています。これまでの行政経験を生かし、議会活動を誠実に支えてまいりますので、よろしくお願いいたします。



前事務局長退任 のごあいさつ

2年間、議会事務局長としてお世話になりました。五十嵐博文です。以前勤務していた25年前と比べ議会の成長を強く実感しました。政策提言や議会報告会の開催など意欲的な取り組みに敬意を表します。議会だよりの更なる充実と積極的な発信を期待します。ありがとうございました。



編集後記

今号では、より読みやすく分かりやすい議会だよりを目指し、構成や見出し、写真の配置を見直しました。

質問と答弁の要点を簡潔に整理し、限られた紙面の中でも議論の内容が伝わるよう工夫しています。

町民の皆さまにとって身近で開かれた議会となるよう、今後も改善を重ねてまいります。

(仲川)



編集委員(広報分科会)

- 分科会長 小林 雅弘
- 副分科会長 荒海 正人
- 委員 上野恵美子
- 委員 長谷川 正
- 委員 仲川 久人
- 委員 渡部佳菜子